

企業名	株式会社ワイズ・ラブ
URL	http://www.yslab.co.jp/
所在地	〒591-8025 堺市北区長曾根町130-42さかい新事業創造センター212号
担当者	内橋義人 TEL:072-254-5109 / FAX: 072-254-5209 / E-mail:uchihashi@yslab.co.jp
企業概要	設立:1995年5月 / 代表者:代表取締役 内橋義人 資本金:1,000万円 / 売上高:13,000万円 / 従業員:15名
商談の目的	■技術の提供、■技術や製品の用途開発、□共同開発、□製品の販路開拓
技術・製品の概要	電子ペーパーデバイス (EPD) を用いた試作開発技術の各種ソリューションへのご提案
技術製品の詳細説明	<p>紙と液晶ディスプレイの中間的特徴を持つ電子ペーパーデバイス (EPD) は、表示保持に電力を一切必要としないことを特徴とし、今後、様々な分野への用途展開が見込まれています。</p> <p>弊社では早くから EPD を利用したソリューション開発を手がけており、そのノウハウを活かして、ロボット産業に関する各種提案をさせていただきます。 (下記に提案例を示します)</p> <div data-bbox="338 864 1449 1536" data-label="Diagram"> <p>EPD利用サービスシステム例 (仮称: 札幌駅前駅周辺エリア EPD利用サービスシステム) ※下図に置かれた長方形エリアは全てEPDを表示しています</p> <p>移動中 (街中等) での見守り ◎お年寄り等の健康状態 ◎ロボットの健康状態 (不測の動作停止時でも復旧方法を指示)</p> <p>移動先 (店舗等) での見守り</p> <p>管理側での見守り</p> </div> <p>上記の例をはじめとし、代表的な EPD 利用ソリューションには以下のような要素技術と、それらを総合的にシステム化する技術が必要となります。 <u>1. EPD コントロール技術、2. ワイヤレス通信技術、3. ワイヤレス給電技術、4. エネルギーハーベスティング技術、5. 省電力システム構築技術、6. RFID 技術、7. 各種センサ利用技術、8. PC、モバイル端末、サーバー連動技術</u></p> <p>弊社ではこれらに関する幅広い知見と豊富な開発実績により、短納期での試作開発が可能です。</p>
特徴	人と機械のインターフェースのうち、機械側から目視情報として出力する手段として液晶ディスプレイや紙媒体への印刷手法が多く用いられてきました。 これらのうち、「液晶ディスプレイでは電力消費が大きすぎる。また日光下での視認性が悪い」、「紙は使い捨てで、もったいない」という課題を解決出来る可能性があるのが EPD です。
面談希望企業	鉄鋼・電気・製造設備メーカー 他
取引先	凸版印刷(株)、シャープ(株)、大学・公設試の航空宇宙工学研究部門
知的財産等	特になし